

県民・事業者の皆様へ

# 男女のバランス大丈夫？

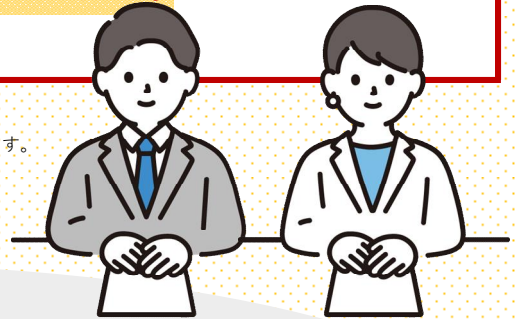
セミナーやシンポジウムなど登壇者が複数いる行事を行う際は、

**※登壇者の※性別に偏りが無いよう可能な限り努め、**

**多様な意見の反映にご配慮ください。**

※登壇者等に求める専門性が高い場合や行事のテーマや目的にあう適当な方が限定される場合、  
その他行事日程の都合上、登壇できる方が他にいないと、やむを得ない事情がある場合を除きます。

※性別には、身体的な男性と女性の区別だけでなく、自分の性別に対する認識である「性自認」  
（「心の性」とも言われる。）や恋愛や性愛の対象となる「性的指向」などの概念を含みます。



## 多様性を認め、尊重し合う社会の実現に向けて

「多様性を認め、尊重し合う社会」の実現には、事業活動や社会の様々な分野の活動において、ジェンダー平等の視点など、多様な方への配慮や意見を反映させることが重要です。

広島県では、性別に関わらず、誰もが、互いに人権を尊重しながら、その個性と能力を十分に発揮し、社会のあらゆる分野において共に参画し責任も分かち合うことのできる**男女共同参画社会**の実現を目指しています。このためには、**県民・事業者・県**が協力し合うことが大切です。

セミナー等においても、ジェンダー平等の視点に立った多様な意見の反映にご協力をお願いします。



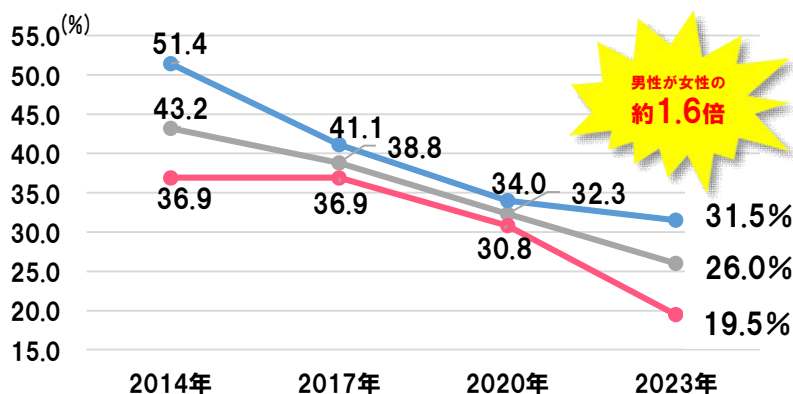
【広島県男女共同参画条例より】

※登壇者等の男女比率は、広島県の後援名義の使用承認の要件ではありません。

# 広島県 男女共同参画に関するデータ

## ● 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について

▼「賛成」+「どちらかといえば賛成」の合計



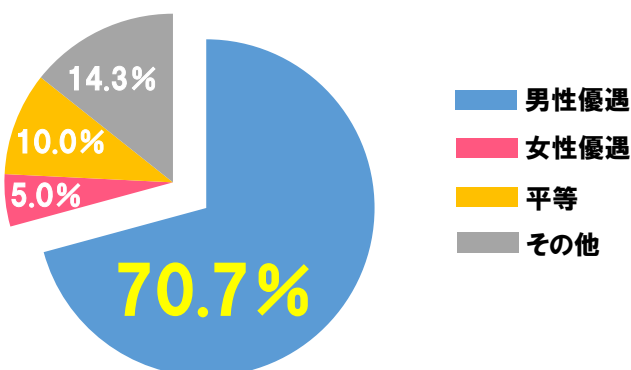
夫婦の伝統的な役割意識は明らかに減少傾向ですが、減少ベースには女性と男性とで差があり、最新の調査でも男性の31.5%は「賛成」と答えています。

【出典「広島県政世論調査」】

## ● 社会全体における男女の地位の平等感について

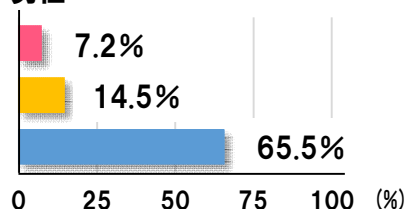
▼女性または男性の方が「優遇されている」「どちらかと言えば優遇されている」と答えた人の割合

▼全体

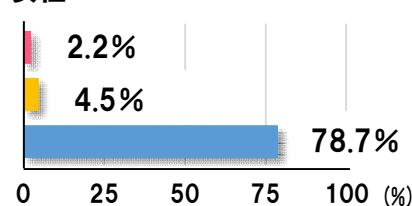


男女全体で約7割の人が、「男性の方が優遇されている」「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」と答えています。

▼男性



▼女性



【出典「広島県政世論調査」2023（令和5年）】

### 【参照】

◆ 「わたしらしい生き方応援プランひろしま」

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/42/wataiki2021.html>

◆ 内閣府男女共同参画局ホームページ

<https://www.gender.go.jp/index.html>

広島県環境県民局わたしらしい生き方応援課

〒730-8511 広島市中区基町10番52号  
TEL 082-513-2746 FAX 082-227-2549  
メール kanwatashi@pref.hiroshima.lg.jp

(令和6年5月発行)

